

～「子どもだけど大人」「大人だけど子ども」な人たちへのメッセージ～

LITTLE BIG

第45号 2010.6.30

発行:福島県立図書館 こどものへや

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218

kodomo@library.fks.ed.jp

<http://www.library.fks.ed.jp>

【Pieces -かけらたち-】本の中の言葉

「(前略)あいつはいつも勝てるってわかってるプロジェクトを用意する。そこと、キミは本当に自分が研究したいプロジェクトをやる。それって、何つか、科学者だよな」

『ニンジャ×ピラリア×ガリレオ』(グレッグ・ライティック・スミス/作 ポプラ社 2007年 133p)

有名になんてならなくていい。『ロミオとジュリエット』のジュリエットになったり、『白鳥と湖』のオデット姫になったり、『くるみ割り人形』の女の子になったりしなくていい。ただ毎日を自分らしく過ごしていれば、それで充実してるんじゃない?人生そんなものよ。

『スノードーム』(アレックス・シラード/著 求龍堂 2005年 158-159p)

私は、この宇宙には、私たちと同じ人間のような生命体はたくさんいるだろうが、決して互いに訪れ合うことは無いと考えている。宇宙は人間の智恵ごときで征服されるほど小さくはないからだ。

『天文学者の虫眼鏡 ー文学と科学のあいだ』(池内了/著 文藝春秋 1999年 67p)

「あなたは何ともないのですか?」

「え?」

「宇宙がどうしてできたかも知らずに生きているということが。そしてこんな根本的なことも分からずに死なねばならないということがありますよ」

『神様のパズル』(機本伸司/著 角川春樹事務所 2002年 43p)

《お知らせ》

福島県立図書館児童図書研究室(こどものへやに併設)では、子どもの読書活動推進を支援するセットの貸出を行っています。

・県内図書館・公民館職員や学校・幼稚園・保育所の先生、読書ボランティアの方々の研修などにご活用ください。

・ご利用は、お近くの図書館(未設置町村にあっては公民館)を通してお申込みください。申し込みのあった図書館(公民館)に直接お送りします。貸出期間は1ヶ月です。

・セット一覧

①『学校図書館基本図書目録2009年版』小学校(目録掲載の資料)

②県指定優良書籍

③児童書選書参考資料(選書に役立つ資料)

④学校図書館支援(運営や読書指導に役立つ資料)

⑤紙芝居を学ぶ(主に歴史や演じ方などを学ぶ資料)

⑥読み聞かせ参考資料

⑦おはなし会参考資料

⑧『学校図書館基本図書目録2009年版』中学校(目録掲載の資料)

お申し込み・お問い合わせは福島県立図書館児童図書研究室まで。(連絡先は上部左側に記載)

ナメから本を読む

このコーナーでは、テーマに合わせて本のちょっと変わった読み方をご紹介します。

テーマその⑤

理系ボーイ★理系ガール★理系ブック

「草食系男子(※1)」や「森ガール(※2)」など、ある一定の趣味や趣向のある人たちを「〇〇系」などと分類する言葉を最近よく耳にします。

そこで今年度は「男子」「女子」だけでなく、本も「〇〇系」と分類して、新しい本の探し方をさぐっていってみたいと思います。

今回のテーマは「理系」。どんな「理系ブック」があるでしょうか？

(※1)恋愛に積極的ではない男性のこと

(※2)ゆったりとした雰囲気の服装やナチュラルなライフスタイルを好む、「森にいそうな女の子」のこと。

★そのものズバリ、理系の本★

書名	著者名	出版社	出版年
『和算を楽しむ』ちくまプリマー新書)	佐藤 健一／著	筑摩書房	2006年
『地学のツボ 地球と宇宙の不思議をさぐる』(ちくまプリマー新書)	鎌田 浩毅／著	筑摩書房	2009年

★理系の登場人物が出てくる本★

書名	著者名	出版社	出版年	内容
『神様のパズル』	機本 伸司／〔著〕	角川春樹事務所	2002年	「宇宙は作ることができるのか？」天才少女と冴えない大学生が、宇宙最大の謎に挑む！
『スノードーム』	アレックス・シラニー／著	求龍堂	2005年	突然行方不明になった科学者に隠された、衝撃の過去とは！？
『ニンジャ×ピラニア×ガリレオ』	グレッグ・ライティック・スミス／作	ポプラ社	2007年	学校で行われる科学コンテストに出品することになった主人公。恋の悩みも重なって、大変なことに…！

★理系の人が書いたエッセイなど★

書名	著者名	出版社	出版年
『天文学者の虫眼鏡 一文学と科学のあいだ』(文春新書)	池内 了／著	文藝春秋	1999年
『科学と科学者のはなし 寺田寅彦エッセイ集』(岩波少年文庫)	寺田 寅彦／〔著〕	岩波書店	2000年
『雪は天からの手紙 中谷宇吉郎エッセイ集』(岩波少年文庫)	中谷 宇吉郎／〔著〕	岩波書店	2002年

理系の人のエッセイは、文系の人が読むと考え方の違いが新鮮に感じられます！文系のアナタ、お試しあれ。

(編集・こどものへや司書小林)